

〔徳川禁令考十八規〕慶應二丙寅年十月九日  
免職ノ者へハ切米ヲ給與セザル旨達

部屋住ニ而布衣被仰付以後、御役御免被成候もの、是迄者御切米者被下候處、向後取來候分共、御切米者不被下候、

一同斷布衣以下之向者、御役御番等御免之節、御切米上リ之儀相願候得共、以後ハ御免之上ハ、直ニ御切米上リ候儀ト相心得別段相伺候ニ不及候、

扶持

〔倭訓栞前編二十六ふち〇中人を扶持するにそへたり、類書纂要に、扶持は顧問周濟之也と見えたり、よて稟食をふちかたといへり、

〔概席寶鑑〕御扶持方ハ一人フチ五俵積、十人フチハ五十俵ノツモリ、  
〔京都御役所向大概覺書〕三、公儀御定御扶持方積之事

一七十俵迄五人扶持 百石、七人扶持  
或拾人、恐八誤、扶持

貳百石、拾人扶持 貳百五拾石、拾壹人扶持  
三百石、拾貳人扶持

三百五拾石、拾三人扶持 四百石、拾四人扶持  
四百五拾石、拾五人扶持

五百石、拾六人扶持 五百五拾石、拾七人扶持  
六百石、拾八人扶持

六百五拾石、拾九人扶持 七百石、貳拾人扶持  
七百五拾石、廿壹人扶持

八百石、廿貳人扶持 九百石、貳拾三人扶持  
千石、貳拾四人扶持

千百石、貳拾五人扶持 千貳百石、貳拾六人扶持  
千三百石、貳拾七人扶持

千四百石、貳拾八人扶持 千五百石、貳拾九人扶持  
千六百石、三十人扶持

千七百石、三十拾壹人扶持 千八百石、三十拾貳人扶持  
千九百石、三十拾三人扶持